

文部科学省後援事業

毎日パソコン入力コンクール

タイピングスキルは一生ものの財産 どなたでも、どこからでも参加できます

GUIDEBOOK



趣意書

現在、我が国の人口は減少の一途をたどり、経済活動を支える生産年齢人口も減っています。このような状況下、持続的な経済成長を実現するためには、ITを活用した生産性の向上を推進する必要があり、デジタル技術を徹底活用できる人材の育成が急務です。

また、小学校の学習指導要領では、「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考を身につけるための学習活動」が明記され、中学校の次期学習指導要領では、「生活や社会を支える情報技術について調べる活動、生活や社会における問題をネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツプログラミングによって解決する活動、生活や社会における問題を、測量・制御のプログラミングによって解決する活動」などが盛り込まれる見通しです。

一方、スマートフォン保有率が年々増加し、7割を超えています（総務省、平成28年版 情報通信白書）。多くの若者がスマートフォンを持つことで、パソコンが必要なくなり、キーボードで文字入力をする機会が減少しています。しかしながら、大学生が論文を書いたり社会人になって仕事で文章を作成したり、プログラムを組んだりするときには必ずと言っていいほどパソコンとキーボードを使います。スマートフォンは、携帯に便利でいつでもどこでも使える反面、長文の文章や本格的なプログラミングをするには不向きです。文科省の小学校学習指導要領（総則）にもあるように、コンピュータで文字を入力するなどの、学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作は、デジタル技術活用の基礎基本です。

このようにキーボードによる文字入力は、社会での必須技術ですが、アルファベットと記号だけを使う英語圏のタイピングとは異なり、日本語のローマ字入力は〈アルファベット→ローマ字→ひらがな→漢字かな交じり〉の順に、段階を踏んで習得していかなくてはなりません。この高度な技能を習得するには、基礎から根気よく続ける練習とそれを励ます周囲の目や指導力が必要となります。

毎日パソコン入力コンクールでは、小学生から段階的にキーボードを使った文字入力に取り組み、高校生になったときには、手書きのスピード（1分間に40文字程度）の2倍の速さでキーボードを見ずに入力でき、入力という行為が思考の妨げにならないようになることを目指しています。（手書き文字との比較 <https://www.youtube.com/watch?v=8S6aBrp4oow>）

当コンクールが、児童・生徒たちの学習意欲や学力の向上、デジタル技術活用力の基礎基本の修得、さらにはITを活用した生産性の向上を推進できるデジタル技術を徹底活用できる人材の育成に資することができれば幸いです。

目次

毎日パソコン入力コンクールとは.....	6
第Ⅰ類.....	8
第Ⅱ類.....	10
毎パソの効果 ～継続することで大幅な技術向上～.....	12
コンクールに参加すると.....	13
参加要項.....	14
大会参加の流れ ～団体参加～.....	16
大会参加の流れ ～個人参加～.....	18
注意事項など.....	19
授業で役立つ ～先生方からのコメント～.....	21
授業で役立つ ～毎パソ取り組み事例 小・中学校～.....	22
授業で役立つ ～毎パソ取り組み事例 高等学校～.....	23

タイピングの上達により、指導効率が上がります

GIGA スクール構想により、小・中学校では児童・生徒1人に1台の端末が配布されました。Society5.0時代に生きる子どもたちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっています。

タイピングが身につけば、どんな教科・領域の学習でも先生や児童・生徒同士でしっかりとコミュニケーションが取れ、記述式の解答、作文などの長文、授業の振り返り、思いや考えなどを速く正確に表現できるようになります。

文部科学省 学習指導要領と毎パソの関係

小学校		
	学習指導要領の内容	対応する毎パソの課題
総 則	児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動。	第Ⅰ類 文字入力
国 語	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書く。	第Ⅰ類 文字入力 第2部 ローマ字
国 語	学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。	第Ⅱ類 基礎学力向上 漢字の読み・意味
国 語	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。	第Ⅰ類 文字入力 第5部 和文A 小学生
外国語活動	英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付く。文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体で書かれた文字と結び付ける活動。	第Ⅱ類 基礎学力向上 英単語
総合的な学習の時間	特にコンピュータで文字を入力するという操作スキルについては、将来にわたる学習活動や情報活用能力の基盤となるスキルと考えられ、確かな習得が望まれる。	第Ⅰ類 文字入力
中学校		
国 語	他教科等の学習において必要となる漢字については、当該教科等と関連付けて指導するなど、その確実な定着が図られるよう工夫すること。	第Ⅱ類 基礎学力向上 漢字の読み・意味
外国語	日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようになる。	第Ⅱ類 基礎学力向上 英単語
高等学校		
外国語	英語による情報の発信に慣れさせるために、キーボードを使って英文を入力するなどの活動を効果的に取り入れることにより、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図るようになること。	第Ⅰ類 文字入力 英文B

学習指導要領と本コンクールの対応

毎パソ参加者の94%が基礎レベルに到達しています



キーボードで入力をしない世代

今の10～20代は、キーボードが使えない「スマホネイティブ」世代とも呼ばれています。最近ではパソコンが無い家庭が増えていることもあり、子どもたちは「学校で」学ばない限り、キーボード入力ができるようにはなりません。キーボード入力が苦手なために文字入力だけで時間を費やしてしまい、ワードやエクセルなどの活用までは手が回らなかったり、文章の内容を考える時間を割くことが難しくなります。



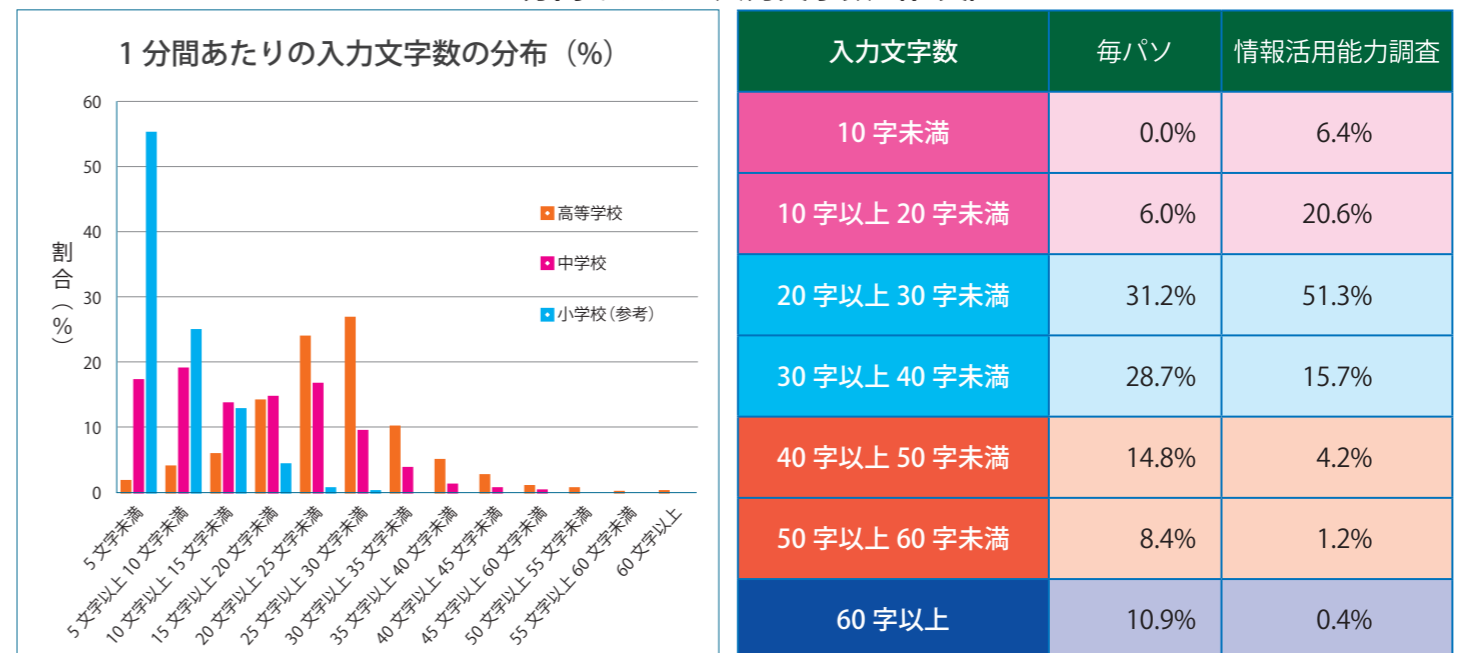
文部科学省の調査と毎パソ参加者の比較

文部科学省では、高等学校の生徒の情報活用能力について、把握、分析するとともに、指導の改善、充実に資するため、情報活用能力調査（高等学校）を、平成27年12月から平成28年3月にかけて実施しました。

1分間あたりの入力文字数が10字未満の生徒は、高等学校では約6%であり、中学校では37%である。1分間にA4用紙の1行程度（40字程度）の文字入力ができる生徒は、高等学校では6%である。

※情報活用能力調査（高等学校）報告書より

1分間あたりの入力文字数（和文）



情報活用能力調査のグラフ

情報活用能力調査と毎パソ参加者の比較表

毎日パソコン入力コンクールとは…

「競って高め合う」ことで、意欲を喚起

タイピング力、基礎学力の二分野に分かれ能力を競う、全国コンクールです。

全国の小・中・高等学校をはじめ、パソコン教室、個人参加など延べ214万人超*にご参加いただきました。

※2024年4月現在



練習アプリ（無償提供）での自主練習

目標の見える化

- ・やる気向上
- ・PC基礎力向上

全国コンクールへの参加

- ・レベルで選べる練習課題
- ・すぐに結果が見える
自動採点機能
- ・練習時間管理機能
- ・成績管理機能

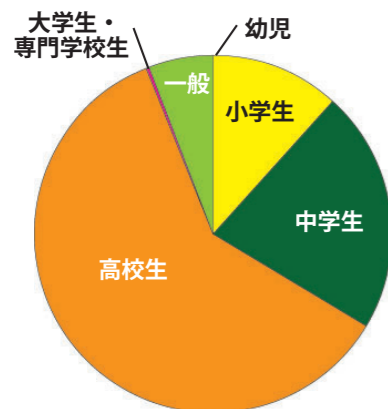
- ・気軽なオンライン参加
- ・級位認定証発行

資格として履歴書に記載可能
学校大口申し込み時は、別途料金

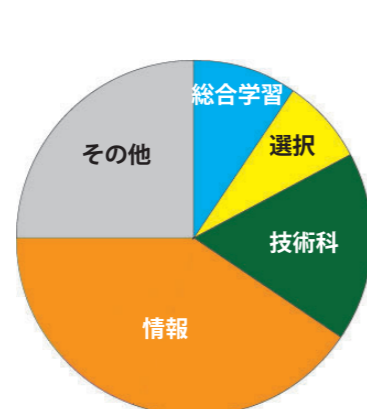
- ・全国順位上位者のネット発表

参加団体の先生に行ったアンケート

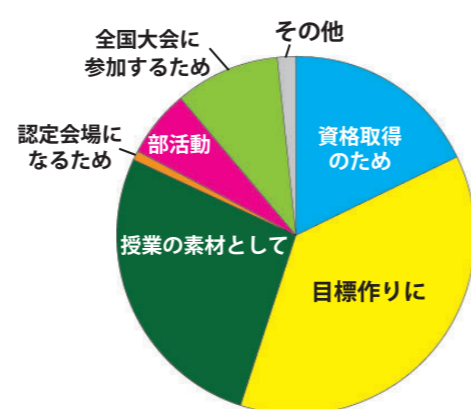
参加者の年齢層を教えてください
(複数選択可)



毎パンをどの教科で活用していますか
(複数選択可)



毎パンに参加する目的を教えてください
(複数選択可)



学年・年代・能力にあわせた豊富な部門をご用意

基礎から発展まで、10以上の部門を揃えています。

課題はホームポジションのごく基礎的なものから、ひらがな、漢字かな混じり文、英単語、英文、数字・記号にいたるまで、参加者の学年や能力にあわせた部門が選択できます。

部 門	課 題
第1部 ホームポジション 基礎	キーボード3段目
第1部 ホームポジション 応用	キーボード2・3・4段目
第2部 ローマ字	物の名前など
第3部 英文A	MainichiWeekly などより引用
第4部 英文B	第6部の課題の英訳
第5部 和文A 小学生低・中学年	ことわざ・慣用句など
第5部 和文A 小学生高学年	ことわざ・慣用句など
第5部 和文A 中学生	中学校の国語の教科書または同程度の文章より引用
第6部 和文B 高校生	毎日新聞の社説などより引用
第6部 和文B 一般	毎日新聞の社説などより引用
第7部 数字・記号 小・中学生	半角数字と演算子
第7部 数字・記号 高校・一般	半角数字と演算子
第Ⅱ類基礎学力向上 英単語 小・中学生	小・中学生レベルの英単語
第Ⅱ類基礎学力向上 英単語 高校生	高校生レベルの英単語
第Ⅱ類基礎学力向上 漢字 小学生	小学校卒業レベルの漢字
第Ⅱ類基礎学力向上 漢字 中・高校生	高等学校卒業レベルの漢字

本番と同じ課題を練習できるため、努力が身を結びやすい

本番と同じ課題を練習できるため、がんばった分だけ上位の級を狙いやすくなっています。

参加者及び参加団体について

個人参加はもちろん、小学校、中学校、高等学校のほか、全国のパソコンスクール、珠算塾、学習塾、幼児教室などからも多くのご参加をいただいております。また、職業訓練の受講生、社会人の方のスキルアップにも毎日パソコン入力コンクールをご活用いただいております。

また、2001年以来、下は3歳から上は80代までの幅広い年齢層の方にご参加いただいております。参加人数はのべ214万人を超えています。

全国大会について

6月大会・秋季大会の上位者には、全国大会の出場権が与えられます。そして、全国大会における成績優秀者には、内閣総理大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞などが授与されるほか、副賞として各種賞品が授与されます（予定）。

その他

毎日パソコン入力コンクールは、世界最高水準のIT利活用社会の実現を目指す、国の「世界最先端IT国家創造宣言」に基づく、ICT教育における基礎基本の普及・促進を目的としています。

第1類

パソコン活用の基礎基本である文字入力を、正しい指使いで正確に速く入力することを競う部門です。ホームポジション、ローマ字、英文、和文、数字・記号などの部門があり、さらにレベル・学年に応じた部門に細分化されています。

部門	内容	課題	競技時間	全国大会	ランキング対象
1	ホームポジション基礎	キーボード3段目	1分	なし	小学生以下
	ホームポジション応用	キーボード2・3・4段目	1分	なし	中学生以下
2	ローマ字	物の名前など	1分	小学生以下	中学生以下
3	英文A	MainichiWeekly などより引用	5分	小・中学生	中学生以下
4	英文B	第6部課題の英訳	5分	高校生	全員
5	和文A 小学生低・中学年	ことわざ・慣用句など	5分	小1～小4	小4以下
	和文A 小学生高学年	ことわざ・慣用句など	5分	小5～小6	小学生以下
	和文A 中学生	中学校の国語の教科書またはそれと同程度の文章より引用	5分	中学生	中学生以下
6	和文B 高校生	毎日新聞の社説などより引用	5分	高校生	高校生以下
	和文B 一般		5分	なし	全員
7	数字・記号 小・中学生	半角数字と演算子	5分	なし	中学生以下
	数字・記号 高校・一般		5分	なし	全員

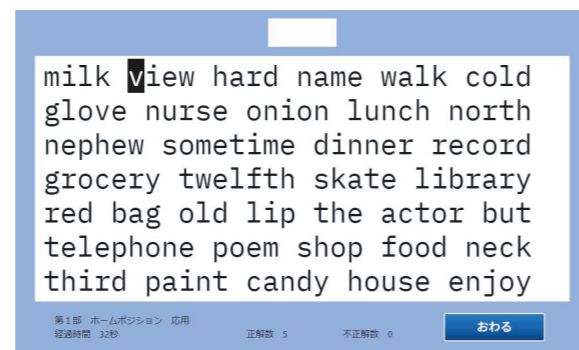
第1部 ホームポジション

第1部ホームポジションはキーボードの入力の基礎基本となるタッチタイピングを身につけるための部門です。

第1部 ホームポジション基礎	
課題	キーボード3段目
ねらい	アルファベットのタッチタイピングに親しむ
めやす	3級（定着）、2級（熟練）、1級（習熟）
※次の段階として、第2部ローマ字をお勧めします。	



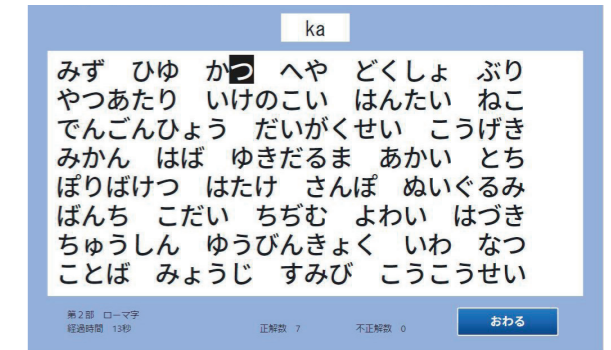
第1部 ホームポジション応用	
課題	キーボード2・3・4段目
ねらい	アルファベットのタッチタイピングを習得する
めやす	3級（定着）、2級（熟練）、1級（習熟）
※次の段階として、第2部ローマ字をお勧めします。	



第2部 ローマ字

第2部ローマ字は、第1部で身につけたホームポジションをもとに、ローマ字入力でひらがなの入力を行います。しっかりとひらがなの入力をすることによって、第5部、第6部の和文部門につなげて練習することができます。

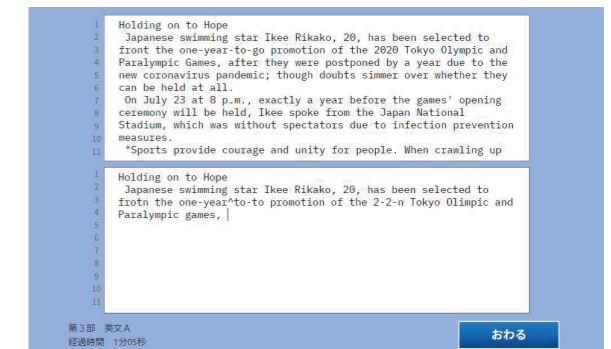
第2部 ローマ字	
課題	物の名前など
ねらい	ローマ字入力技能を習得する
めやす	3級（定着）、2級（熟練）、1級（習熟）
※次の段階として、第5部和文A小学生をお勧めします。	



第3・4部 英文

第3・4部英文は、タッチタイピングで正確に速く英文を入力する部門です。

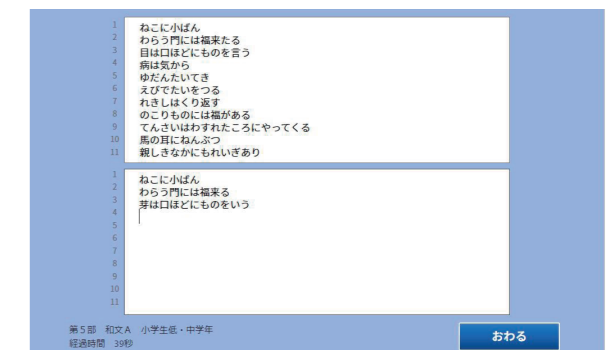
第3・4部 英文A・B	
課題	MainichiWeekly 記事・毎日新聞の社説の英訳など
ねらい	長文の英文入力技能を習得する
めやす	3級（定着）、2級（熟練）、1級（習熟）
※和文入力技能と平行して取り組むことをお勧めします。	



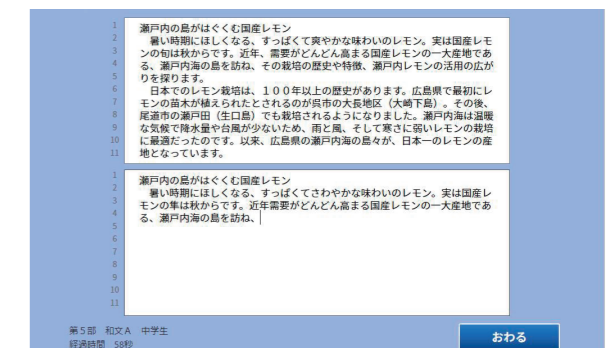
第5・6部 和文

第5・6部和文は、タッチタイピングで正確に速く和文を入力する部門です。

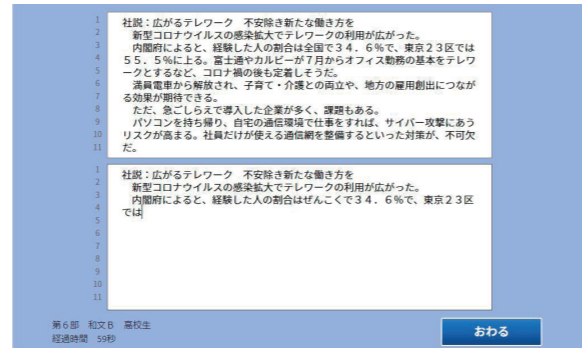
第5部 和文A小学生（低・中学年、高学年）	
課題	ことわざ・慣用句
ねらい	短文の和文入力技能を習得する
めやす	3級（実用）、2級（実務）、1級（習熟）
※次の段階として、第5部和文A中学生をお勧めします。	



第5部 和文A中学生	
課題	中学校の国語の教科書など
ねらい	長文の和文入力技能を習得する
めやす	3級（実用）、2級（実務）、1級（習熟）
※次の段階として、第6部和文Bをお勧めします。	



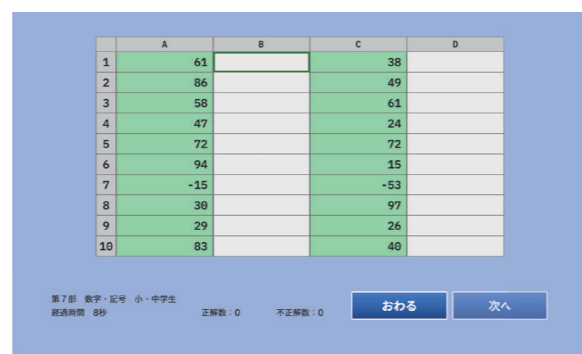
第6部 和文B (高校生、一般)	
課題	毎日新聞の社説など
ねらい	長文で実務レベルの和文入力技能を習得する
めやす	3級(実用)、2級(実務)、1級(習熟)
※3級は手書き文字とほぼ同等の速さの実用レベル、 2級は社会で通用する実務レベル、 1級は手書き文字の約3倍の習熟レベルです。	



第7部 数字・記号

第7部数字・記号は、正確に速く数字・記号を入力する部門です。

第7部 数字・記号	
課題	半角数字と演算子
ねらい	数字と記号の入力技能を習得する
めやす	3級(定着)、2級(熟練)、1級(習熟)
※和文入力技能と平行して取り組むことをお勧めします。	



英単語 (英語)

ネイティブスピーカーの音声を聞き、画面に表示された日本語訳を見て、スペルを入力します。

ねらい	読める・書ける(打てる)・意味がわかる・聞ける・言える。
学び方	競技をしながら自分で発音して、意味がわからない課題は、ノートに書いて覚えましょう。さらに辞書を引いて例文をノートに書いて覚えればその単語を「使える」ようになります。 米国式スペルで解答してください。
めやす	英単語 小・中学生・・・3級(中学初級程度)、2級(中学中級程度)、1級(中学卒業程度) 英単語 高校生・・・3級(高校初級程度)、2級(高校中級程度)、1級(高校卒業程度)
※間違いをノートに書く「ノート学習」をあわせて行うことをお勧めします。	



漢字 (読み・意味)

読み: 画面に表示された漢字の、線が引かれた部分の読みを入力します。

意味: 表示された文章を読み、その意味に合う熟語を選択します。

ねらい	漢字が読める。漢字の意味がわかる。
学び方	競技をしながら、読めない課題と意味がわからない課題はノートに書いて覚えましょう。さらに辞書を引いて使い方・同意語・反意語などを調べるとさらに学びが深まります。
めやす	漢字 小学生・・・5級(小学4年生程度)、3級(小学5年生程度)、1級(小学校卒業程度) 漢字 中・高校生・・・5級(中学2年生程度)、3級(中学3年生程度)、1級(高校卒業程度)
※間違いをノートに書く「ノート学習」をあわせて行うことをお勧めします。	



第II類

第II類は、課題の種類およびレベルにより、4部門に分かれています。

部門により「小・中学生」「高校生」などの表記がございますが、課題レベルの指標であり、全部門とも学年・年齢にかかわらずどなたでも参加することができます。

内容	課題	競技時間	全国大会	ランキング対象
英単語(英語) 小・中学生	小・中学生レベルの英単語	5分	小・中学生	中学生以下
英単語(英語) 高校生	高校生レベルの英単語	5分	高校生	高校生以下
漢字(国語) 小学生	小学校卒業レベルの漢字の読みと意味	読み3分+意味3分	小学生	小学生以下
漢字(国語) 中・高生	高校卒業レベルの漢字の読みと意味	読み3分+意味3分	中・高校生	高校生以下

毎パソの効果 ～継続することで大幅な技術向上～

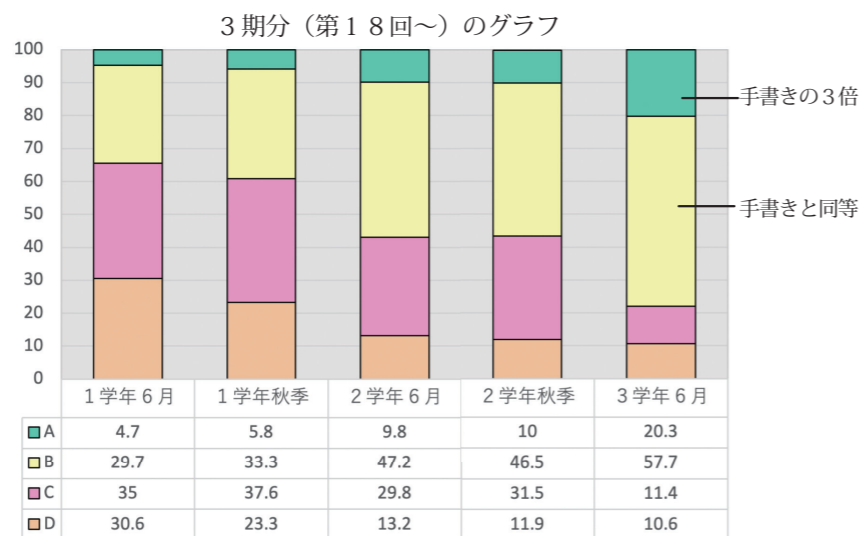
具体的にどのようにタイピングスキルが向上したのかを、神戸学院大学附属高等学校に着目して調査いたしました。先生が日ごろから実感されているとおり、調査結果では、3年間継続することによる大幅な技術向上が顕著に表れています。

成績調査にあたっての条件

- 第18回～20回大会で1年生だった生徒が、3年生になるまでの結果
- 人数は大会ごとに相違があるため、全体における割合で比較
- 群分け：A…2級以上、B…準2級～5級、C…6級～9級、D…10級以下

グラフと考察

多少の上下はあるものの、1年生で参加した当時より、A、Bともに徐々に増加していることがわかります。それに対しCは約24ポイント減少しており、またDに至っては3分の1以下まで割合が少なくなっています。回数を重ねるごとに、手書きよりスピードの遅かった生徒が、実務レベルまで上がっている割合が多いことを示しています。



参考

- A = 2級以上 (1分間に60文字から120文字以上…手書きの3倍以上の速さ)
- B = 5級以上 (1分間に40文字程度…手書きと同等の速さ)
- C = 9級以上 (1分間に25文字程度)
- D = 10級以下 (1分間に15文字程度、ミスが一定以上の場合も含む)

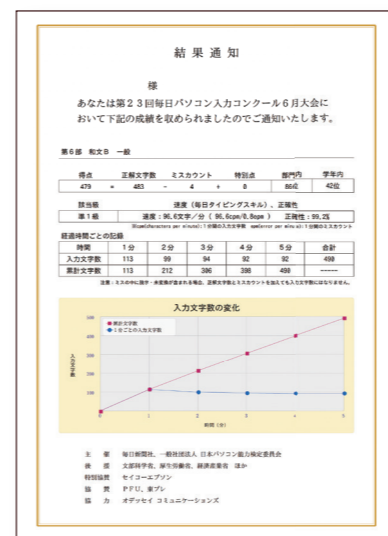
学校データ

- 学校名 : 神戸学院大学附属高等学校
- 生徒数 : 約780名
- 課程 : 全日制・普通科
- 参加形態 : 生徒全員が学校大口で参加
- 練習時間 : 情報科授業内 (Windows PC)、および生徒1人1台の端末 (iPad/Chromebook) で各自練習



コンクールに参加すると・・・

- ・全員に結果通知が発行されます。
- ・成績上位者はWeb上で発表されます。
- ・級段位が記載された認定証が発行されます。(学校大口参加の場合は、別途お申し込みが必要です)



第5部 和文A 中学生

ランキングPDFをダウンロード (第5部 和文A 中学生)

順位にマークがついている方は、秋季大会における全国大会出場権獲得者です。6月大会における全国大会出場権獲得者は、上位30名までを記載いたします。

備考欄について 第1欄: 得点 (正解数-不正解数+特別点) 第2欄: 得点 (タイム)

順位	氏名	学校名	学年	得点
1	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	1330(1091-0+239)
10	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	1248(1040-0+208)
100	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	1164(1000-2+164)
1000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	1020(862-0+158)
10000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	902(798-3+49)
100000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	810(702-2+92)
1000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	699(624-165)
10000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	601(517-0+164)
100000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	509(475-0+123)
1000000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	406(375-0+131)
10000000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	305(222-2+83)
100000000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	199(174-0+149)
1000000000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	102(75-0+147)
10000000000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	80(75-0+147)
100000000000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	73(72-0+148)
1000000000000000	山田 花子	神戸市立東灘中学校	中学2年	63(71-0+144)



受験に就職に活かします

毎パソで取得した段級位を資格として活用できます。

【受験用書類 記入例】

私は、3年間パソコン部に所属し、3年生の時には部長を務めました。週4回の活動では、「毎日パソコン入カコンクール」に取り組み、年3回の大会に全て参加しました。また、大会が開催されていない期間でも課題の練習を続け、根気よく練習を積み重ねていけば、とこれに伴って成果が上がっていくことを実感しました。

その結果、3年生で参加した6月大会では、和文 中学生の部門で、手書き文字と同等速度の「実用レベル」である、3級の認定を受けることができました。

高等学校卒業後の進路について
(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

私の将来の夢は、保育士になることです。理由は、小さい子ども達の世話をすることが好きだからです。また最近のニュースなどで、つらい思いをしている子どもの話もよく聞き、胸が痛んでいます。少しでもこういった子ども達の力になれるよう、幼児教育関係の大学への進学を目指し、高校でも勉学に励みます。

また保育士の仕事の中には、お便りなどの書類を作成することも多いと思います。部活動で培ったパソコン入カ技術を生かし、将来の仕事にもぜひ役立てたいと思います。

(注意) 1 志願者が黒のボールペンで記入する。なお、コピー等鮮明な表記のものは認めます。

【履歴書 記入例】

年	月	免許・資格
平成19	2	普通自動車第一種免許 取得
平成20	5	基本情報技術者試験 合格
平成21	11	実用数学技能検定 合格
平成22	2	日本漢字能力検定 2級
平成23		文部科学省後援大会毎日パソコン入カコンクール 和文準1級

6月大会・秋季大会の成績上位者が参加する全国大会では、内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞などを授与



参加要項

1. 参加資格

全部門とも幼児から一般までどなたでも参加できます（参加部門制限なし）。
個人参加の場合は、電子メールを使用して文書のやりとりを行える方。

2. 開催日・会場

開催日：ホームページなどでお確かめください。

申込締切：基本的に大会最終日となります。

会場：団体参加：毎日パソコン入力コンクールの認定会場で参加
個人参加：自宅・会社などからインターネット経由で参加

※学校団体参加、学校大口参加で、学校の行事などにより、左記日程で参加できない事情がある場合、特別に対応させていただきますので、事務局へご相談ください。

3. 参加費

お支払い後の参加部門の変更はできません。ご注意ください。

部 門	学校団体	学校大口	新規学校大口特別	既存学校大口特別	一般団体	個人参加
第1部 ホームポジション 基礎	750円	学校団体が初回申込時に50課題以上参加の場合	学校団体が初回申込時に500課題以上、または同一年度での大口参加が2回以上見込まれる場合	学校団体が第17回、第18回大会で大口参加の実績があり50課題以上で参加の場合	950円	2,190円
第1部 ホームポジション 応用						
第2部 ローマ字	1,060円	250円	200円	180円	1,360円	2,700円
第3部 英文A						
第4部 英文B						
第5部 和文A 小学生低・中学年						
第5部 和文A 小学生高学年						
第5部 和文A 中学生						
第6部 和文B 高校生	750円				950円	2,190円
第6部 和文B 一般						
第7部 数字・記号 小・中学生	1,060円	※大口参加の場合、結果通知データのみ配布となります。認定証の発行を希望する場合、認定証発行料<1枚：1,100円（消費税込）>をいただきます。			1,360円	2,700円
第7部 数字・記号 高校・一般						
第Ⅱ類基礎学力向上 英単語 小・中学生						
第Ⅱ類基礎学力向上 英単語 高校生						
第Ⅱ類基礎学力向上 漢字 小学生						
第Ⅱ類基礎学力向上 漢字 中・高校生						

4. 練習・大会参加方法

【練習方法】

事前に団体責任者ページで、参加者登録、ユーザーIDとパスワードの発行をしてください。
そのIDとPWでサインインすると練習ができます。

【大会参加方法】

団体責任者用ページで参加者・参加部門を登録して、お支払いへ。
ご入金後に発行される参加票を使って、参加してください。

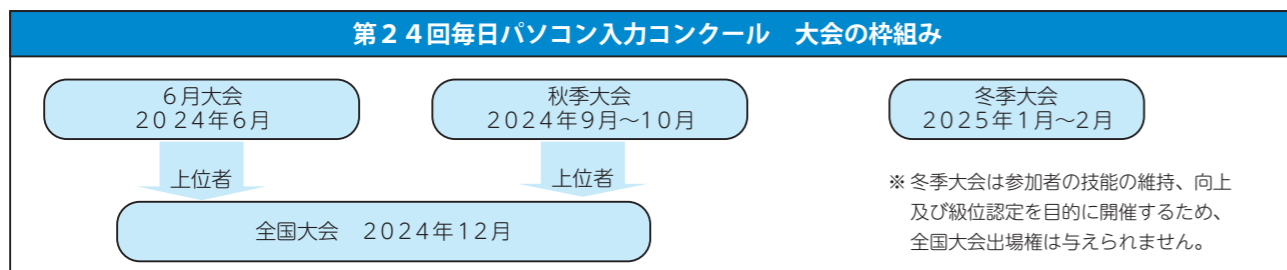
【団体参加要件】

3名かつ5課題以上のご参加をいただけること。
最新のchrome、edge、safariを使用すること。動作環境は、ホームページでお確かめください。

5. 成績発表

各大会終了後、以下の形で行います。

- ①毎日パソコン入力コンクールホームページで部門ごとの全国ランキング上位者を発表。
- ②団体責任者用ページにて結果を通知（電子メールで発表開始のお知らせをします）。
- ③認定証の発行（認定会場の先生に送付します）。



6. 資格認定基準

1) 級位認定

結果によって級位を認定いたします。認定基準につきましては、下記表のとおりです。

部門 認定級	得 点						
	第1部 ホームポジション	第2部 ローマ字	第3・4部 英文A・B	第5・6部 和文A・B	第7部 数字・記号	第Ⅱ類 英単語	第Ⅱ類 漢字
1級	290	193	990	625	710	855	950
準1級	177	135	550	395	525	395	760
2級	135	105	440	300	455	315	680
準2級	110	89	380	245	410	245	630
3級	93	75	325	200	370	185	580
4級	86	71	310	188	355	165	560
5級	80	66	295	175	345	145	540
6級	75	61	280	162	330	130	510
7級	69	57	265	150	315	110	480
8級	63	53	245	135	300	100	460
9級	57	46	225	122	275	85	410
10級	51	40	205	109	255	75	370
10級-B	44	32	185	92	230	55	300
10級-C	33	20	145	70	180	25	220
10級-D	20	10	100	45	130	10	90
10級-E	20未満	10未満	100未満	45未満	130未満	10未満	90未満

①得点について
級位認定や審査の基準となる得点の計算方法は下記の通りです。
得点=正解数-ミスカウント+ 特別点

②ミスカウントについて
正確な入力の奨励を目的として、ミスカウントに関する規定を設けています。
ミスカウント=誤字+脱字+余字+未変換
第1・2部では、ミスカウント11文字以上、
第3～6部ではミスカウント9文字以上、
第7部ではミスカウント5セル以上の場合、
10級-B, C, D, Eのいずれかの認定になります。

③特別点について
正確な入力を奨励するために、ミスカウントが少ない場合は下記の特別点を得点に加算します。

ミスカウント	特別点
0字	正解数の20%
1字	正解数の15%
2字	正解数の10%
3字	正解数の5%

(小数点以下は切り上げ)

2) 毎日タイピングスキル

第3～7部を対象として、参加した結果によって級位とともに入力スキルを認定いたします。認定証などに下記のとおり記載します。
毎日タイピングスキル 和文 100文字/1分 (100cpm ※)
毎日タイピングスキル 英文 246文字/1分 (246cpm ※)
毎日タイピングスキル 数字 160文字/1分 (160cpm ※)

※ cpm=charactersperminute 1分間に入力できる文字数です。

7. 部門・課題

全部門とも幼児から一般までどなたでも参加できます（参加部門制限なし）。また、成績により級位の認定が受けられます。
競技時間は第1・2部が1分間、第3～7部、第Ⅱ類が5分間（漢字のみ6分間）です。

本コンクールでは事前に課題を発表いたします。毎日アプリで繰り返し練習していただき、同じ課題でコンクールに参加していただきます。そのねらいは下記の通りです。

- 参加者に明確な努力目標を提示することにより、楽しみながら練習に励むことができます。
- 繰り返し練習することにより、基礎基本を徹底し、漢字、熟語を覚えるなどの学習効果が得られます。

部 門	課 題	全国大会出場対象者
第1部 ホームポジション 基礎	キーボード3段目	なし
第1部 ホームポジション 応用	キーボード2・3・4段目	なし
第2部 ローマ字	物の名前など	小学生以下
第3部 英文A	MainichiWeekly などより引用	小・中学生
第4部 英文B	第6部の課題の英訳	高校生
第5部 和文A 小学生低・中学年	ことわざ・慣用句など	小1～4
第5部 和文A 小学生高学年	ことわざ・慣用句など	小5～6
第5部 和文A 中学生	中学校の国語の教科書または同程度の文章より引用	中学生
第6部 和文B 高校生	毎日新聞の社説などより引用	高校生
第6部 和文B 一般	毎日新聞の社説などより引用	なし
第7部 数字・記号 小・中学生	半角数字と演算子	なし
第7部 数字・記号 高校・一般	半角数字と演算子	なし
第Ⅱ類基礎学力向上 英単語 小・中学生	小・中学生レベルの英単語	小・中学生
第Ⅱ類基礎学力向上 英単語 高校生	高校生レベルの英単語	高校生
第Ⅱ類基礎学力向上 漢字 小学生	小学校卒業レベルの漢字	小学生
第Ⅱ類基礎学力向上 漢字 中・高校生	高等学校卒業レベルの漢字	中・高校生

全国大会は、児童・生徒の奨励と育成を目的としています。
第6部と第7部は、それぞれ課題が共通です。

大会参加の流れ ~団体参加~

1. 会場申請 (初回のみ)

パソ検ホームページにアクセスし、「会場申請」のフォームから申し込んでください。
 学校、企業、私塾、PCスクールなどの教育・研修機関を対象として、団体参加をおすすめしています。3名以上かつ5課題以上の参加見込みがあれば認定会場申請ができます。



❗ パスワードの設定を求められます。
 今後使用しますので必ず控えてください。

↓ kentei@pasoken.or.jp からメールが届きます。

2. 団体責任者用ページにログイン

パソ検ホームページにアクセスし、画面右上「各種ログイン」より、団体責任者用ページを開きます。
 毎パソ ID とパスワードが求められるので入力してログインしてください。



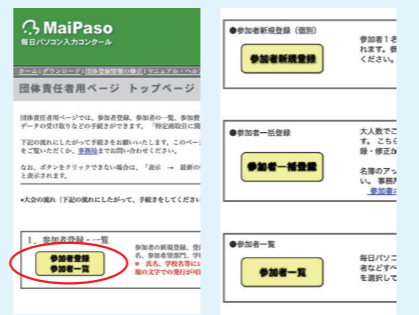
毎パソ ID：メールに記載された、4ケタ - (ハイフン) 3ケタの数字
 パスワード：1. 会場申請時に設定したパスワード (6ケタ)

3. 参加者の登録

団体責任者用ページの「1. 参加者登録・一覧」から「参加者登録 参加者一覧」のボタンをクリックしてください。

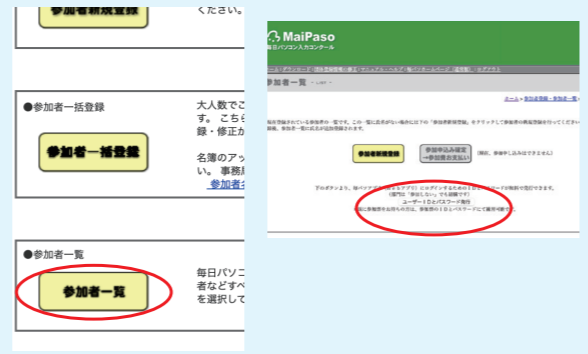
個別登録か一括登録で画面に従い、登録をしてください。

登録の際、「参加部門」が未定の場合は未記入で構いません。



4. ユーザー ID の発行

参加者一覧の「ユーザー ID とパスワード発行」で参加者全員の、毎パソアプリにサインインするためのユーザー ID とパスワードが発行されます。



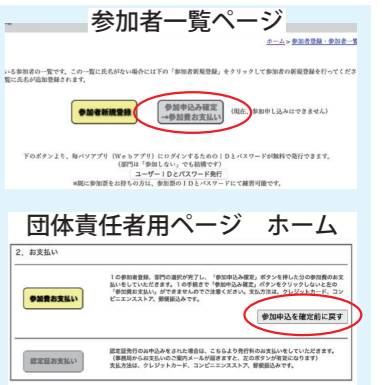
毎パソアプリで練習

発行したユーザー ID とパスワードで毎パソアプリにサインインし、練習ができます。
 アプリについては 20 ページをご覧ください。

5. 参加部門の登録、参加費お支払い

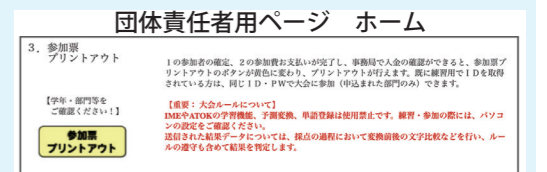
参加される方の部門を登録してください。
 参加しない場合は「参加しない」を選択してください。
 申し込み確定→参加費お支払いボタンを押して、画面の通り、支払いに進んでください。

確定後、いつでも支払いボタンが押せます。もし支払い前に間違いがあった場合は「参加申し込みを確定前に戻す」こともできます。
 支払い金額など、よく確認した上でお支払いください。



6. 参加票発行

入金が確認されると「参加票」が発行され、大会参加ができますようになります。

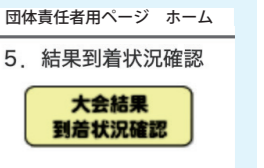


大会参加

該当部門で大会参加ボタンが押せるようになります。
 I 類は一回のみ、II 類は大会期間中何度でもできます。

大会結果到着状況確認

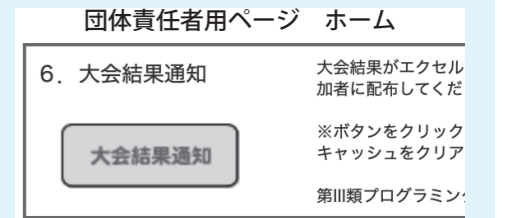
団体責任者用ページで結果到着状況を確認してください。



7. 結果発表・結果通知ダウンロード 期間外参加

結果発表日正午より、結果通知がダウンロードできるようになります。

I 類に限り、期間外参加ができます。大会期間中に参加できなかった方はぜひ参加してください。(ランキングには反映されませんが、結果通知や認定証が発行されます。)



8. 認定証到着

結果発表後から認定証を送付開始いたします。(学校大口を除く)

団体責任者用ページでダウンロードできるもの

- 課題文章
 - 大会資料
 - 生徒用参加申込書
 - 領収書
- がダウンロードできます。ぜひご活用ください。

団体登録情報の修正

責任者が変更になった場合や電話番号などの変更は「団体登録情報の修正」から行ってください。



大会参加の流れ ～個人参加～

1. お申し込み

パソ検ホームページにアクセスし、「個人申し込み」のフォームから申し込んでください。

① パスワードの設定を求められます。
今後使用しますので必ず控えてください。



2. 参加費お支払い

画面に従って参加費をお支払いください。
お支払い方法はクレジットカード、コンビニエンスストア、郵便振込みの3つの方法がございます。

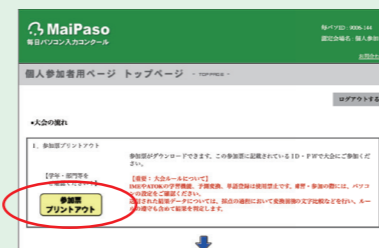
kentei@pasoken.or.jp からメールが届きます。

3. 参加情報の受信

参加費の入金確認がとれると、個人参加者用ページにログインするための、毎パソIDがメールで送信されます。上記1で設定したパスワード、毎パソIDを入力して、個人参加者用ページにログインしてください。
メールが見つからない場合は、迷惑メールフォルダも確認してください。

4. ユーザー ID の発行

個人参加者用ページ「参加票プリントアウト」で毎パソアプリにサインインするユーザーIDとパスワードを取得できます。



毎パソアプリで練習

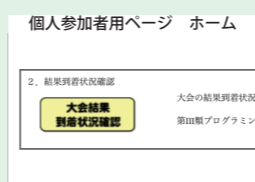
発行したユーザーIDとパスワードで毎パソアプリにサインインし、練習ができます。
アプリについては20ページをご覧ください。

大会参加

該当部門で大会参加ボタンが押せるようになります。
I類は一回のみ、II類は大会期間中何度でもできます。

大会結果到着状況確認

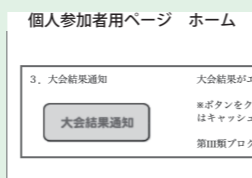
個人参加者用ページで結果到着状況を確認してください。



5. 結果発表・結果通知ダウンロード 期間外参加

結果発表日正午より、結果通知がダウンロードできるようになります。

I類に限り、期間外参加ができます。大会期間中に参加できなかった方はぜひ参加してください。(ランキングには反映されませんが、結果通知や認定証が発行されます。)



6. 認定証到着

結果発表後から認定証を送信開始いたします。

注意事項など

大会参加の禁止・注意事項（6月・秋季・冬季・全国大会共通）

【禁止事項】

下記の禁止事項が行われた場合は、事前事後にかかわらず失格となります。

- IMEやATOKなどの学習機能、予測変換機能、入力支援機能の使用
※予測変換について
プロパティの予測入力タブ等にて設定ができます。
仮に使用する設定であっても、変換操作の際、実際に打鍵した文字よりも長い文を変換候補リストから選択しなければなりません。
- 事前の単語登録
- 代理受験
- コピー機能、貼り付け機能の使用など、このコンクールの趣旨にそぐわない操作
- 指定された日時、時間以外で主催者の許可のないまま行った競技
- 競技中、会場内の競技委員の指示に従わない場合
- その他、ソフトウェアによる自動入力などの特殊な操作
- 運営委員会で不適切な行為と認められた場合
- パソコン、キーボード、マウスの持ち込み（全国大会のみ）

【注意事項】

上記「禁止事項」に十分注意して、パソコンの設定、IMEやATOKの設定などは、団体責任者（個人参加では本人または保護者）が事前に行い、必要に応じて参加者自身が確認してください。

6月大会・秋季大会・冬季大会において、成績上位者の方につきましては、入力中の様子を動画で記録して、事務局からの連絡後30日以内に提出していただく場合があります。

決済時の注意

決済時に、『エラーが発生しました。店舗へ連絡してください。(P009)』というエラーが出てくる場合があります。

担当者名が長く、文字数制限を超過している可能性があります。担当者名を短くしてみてください。

また、団体責任者用ページの団体情報修正画面にて担当者氏名を短く変更することで、次回以降はエラーが回避できます。

この現象は今後も毎回決済時に起きる現象なので、団体情報登録画面にて担当者氏名の変更をご確認ください。

なお、メールアドレスを入力すると、自動的に氏名欄が埋まることがあります。団体情報・入金額の確認画面で「次へ」ボタンをクリックする前にお確かめください。

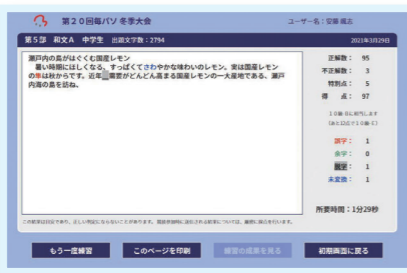
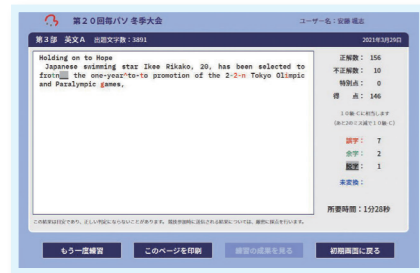
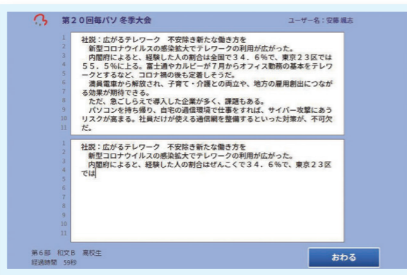
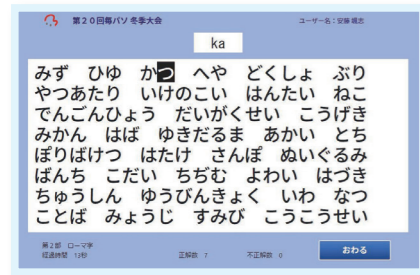
注意：「高」「崎」長すぎるお名前などを入力するとエラーになり、お支払いができない場合がございます。

オンラインで参加できます

毎パソアプリは、PC へのインストールは不要で、ブラウザから使用します。対応 OS (ブラウザ) は、下記のとおりです。

- Windows11(Edge, Chrome)
- Windows10(Edge, Chrome)
- macOS(Safari, Chrome)
- iPadOS(Safari, Chrome)
- chromebook(Chrome)

漢字かな交じり文の採点ができるのが、毎パソの大きな特徴です。実用的なタイピング技能が身につきます。



日	練習時間	正解率	平均速度	検定	検定時間
1	2021/03/20	98%	210	1	21分00秒
2	2021/03/18	95%	185	0	21分05秒
3	2021/03/18	97%	190	2	21分07秒
4	2021/03/18	96%	188	0	21分08秒



第1回 ホームポジション	第2回 ローマ字	第3回 和文A	第4回 和文B	第5回 和文A	第6回 和文B	第7回 数字・記号
小学生・中学生	ローマ字	和文A	和文B	小学生・中学生	小学生・中学生	小学生・中学生

基礎から実践練習までを網羅

ホームポジション、ローマ字の基礎練習から、英文、和文、数字・記号などの実践練習まで、それぞれの方の能力にあわせたレベルから練習、参加することができます。

充実の自動採点機能

入力が終わると瞬時に自動採点されます。正解、不正解の箇所が確認できるため、入力の「正確さ」と「速さ」が身につきます。英文・和文では、タイピングソフトではできない、より実践に近いかたちの練習ができるようになっています。

練習が楽しみな成績管理機能

練習した結果をグラフ・表で一覧できるため、練習の成果が一目瞭然で練習意欲も向上します。しっかり目標を持って、楽しみながら練習をすることができます。

練習時間、開始位置変更機能

練習時間、開始位置変更機能がついているため、授業のなかでの時間配分に便利です。入力練習をすることによって、集中力が高まり、授業のスムーズな進行にも有効です。

授業で役立つ ~先生方からのコメント~

茨城県 学校法人リリー文化学園リリーベール小学校

タイピングの基礎を小学生で身に付けて欲しい

本校では、1年生から「情報科」の授業があり、タイピングを学んでいます。友達と競い合いながら、また、過去の自分の記録と戦いながら取り組んでいます。人気の理由のひとつはその場で得点が出る、ランキングが出る、その分かりやすさだと思います。納得がいくまで何度でもトライできるのも魅力です。友達同士で声をかけ合うなどし、タイピングを学ぶモチベーションが自然に保たれている様子です。

また高学年になると、培ったタイピングの技術でパワーポイントなどの資料を短い時間で作成することができるようになり、6年生は一人ひとつのテーマで卒業研究を行い、発表のためのスライドを作成します。

賞を取るために頑張るだけでなく、ホームポジションや正しい指遣いを守りながら、正しいタイピング技術を地道に獲得することが重要です。大人になった時、必ず自分を助けてくれるタイピングの技術の基礎を小学生で身に付けて欲しいと考えています。



東京都 淑徳小学校

タイピングにおける初めの一步

休み時間の過ごし方の1つとして毎パソが定着しているのは、練習の手軽さや上達を確認しやすいことが大きな要因のように思います。

本校児童は卒業すると、いろいろな中学に進学します。「自分は小学校時代に自然とタイピングが身に付き、それが当たり前だと思っていた。でも同じように打てる友だちは周囲にはいない。毎パソで練習できて本当に良かった。」といううれしい声、たびたび卒業生から寄せられます。

今後もタイピングにおける初めの一步を大切に、子どもたちの自発性を引き出すような指導を心がけたいと思います。



茨城県立並木中等教育学校

将来必要となるパソコン入力の基礎技能

ここ数年は入学時のパソコン入力の技能に大きな差があり、1年生の授業での練習時間を多めにとるようにしています。そうすることで、1年生から総合的な学習の時間に行っている「ミニ理数探究」の時間でのパソコン入力でも普通に使用できるようになっていき、後期生で行っている「理数探究」のレポート作成やプレゼン資料作成でも使えるものになっていきます。技術・家庭科の授業や情報の授業などで身につけた技能を大学や社会に出てからも活用していければと思います。



兵庫県 神戸学院大学附属中学校・高等学校

「毎パソ」に継続して取り組むことの意味

本校では、第5回大会から取り組みをスタートし、まもなく20年目を迎えます。第1類で鍛える文字入力技能と、第2類で鍛える基礎学力(語彙力)は、ICT活用場面を含め、卒業後にあらゆる場面で必要となるリテラシーです。これまで、毎パソの取り組みを通じて「継続的に取り組むことの重要性」を学ぶことができました。

大学入学共通テストに「情報I」が加わり、知識・思考・判断・表現の力が重要となる中で、技能面とのバランスを保ちながら、幅広い情報活用力を身につけることが大切です。2017年の開校以来、年次進行で取り組み学年を拡大してきましたが、1学年2クラス(3学年6クラス)規模での学校賞第1位は難しいと考えていました。それでも、生徒は切磋琢磨して取り組み、第1位という結果を2度も残すことができました。

中高一貫コースで学ぶ生徒は、毎パソに6年間取り組んで卒業します。今回、全国大会に出場した生徒(中高あわせて4名)は、中高一貫コースの生徒でした。中学からの基礎づくりと、継続して取り組むことが成果につながっています。



愛知県豊田市立挙母小学校

学校の特徴、PRポイント

明治5年に挙母郷学校として設立した伝統ある学校ですが、町の自然や人・環境・歴史にかかわり、地区に生きることの自覚を高め地域に自ら働きかける子どもを育成するという、新しい取り組みもしています。また、伝統がある一方で、太陽光発電や各教室にワークスペースなどもあります。

コンクールに参加しようと思った動機、きっかけ

パソコンが一般に普及し、文字入力とは基本的な技能となりましたが、スムーズに入力のできる児童はわずかでした。そこで、これからの時代、入りに戸惑ってパソコン操作の妨げにならないよう、入力練習をすることにしました。大会参加が励みになると考え、毎パソにはコンピュータ部として平成22年度から参加しています。

参加した児童のみなさんの様子など

パソコンの入力を上手になりたいという子が多く、参加者は3年連続増加しました。昨年度（取材当時）の部の最高記録は準1級です。それ以上を狙う子も見られます。春から夏にかけては他社のソフトでホームポジションの練習をしますが、そこで100%合格できた子は、コンクールの3級以上が取れることが多いです。秋以降は毎パソのソフトを使って練習し、本番に挑戦しています。

先生から一言

練習では、**その場で結果が出るのが励みになって**良いようです。そこでつまずいたら、基本練習に戻るよう指導しています。特に最初の段階では、キーボードをすぐに見てしまうので、まずは指の感覚を覚えるために、基礎固めを重要視しています。また、児童の意欲を引き出すために、3級以上の認定を得た児童を全校朝礼などで表彰しています。



福岡県立築上西高等学校

学校の特徴、PRポイント

大正2年創立の郡立椎田実業女学校を起源とし、25年度に創立100周年を迎えた、豊築地区では唯一の全日制普通科高校です。生徒の進路実現を図るために大学進学、専門・各種学校、公務員・就職の3つのコースを設置し、各コースの特色をいかした教育を推進しています。

コンクールに参加しようと思った動機、きっかけ

文字入力は情報リテラシーの基礎基本なので、情報の学習を始めるにあたり重要と考えています。本校では1年生全員が文字入力練習に取り組んで身につけているので、文字入力を短時間でできるようになり2・3年生になってからの情報Cの授業がとてもスムーズに行えます。

参加してみて生徒さんの反応

練習を重ねると、生徒たちの多くは「指が思わず動くようになった」「同じ文章で練習すると、指が覚えてくれるようになる」といいます。

コンクールに参加した生徒さんの入力のスピード、授業などでの変化

短時間でも、毎回の授業の始めに練習することが確実な上達へとつながります。1年生の平均はローマ字7級、和文Bは8級、数字・記号は4級でその生徒たちが3年生になるとローマ字3級、和文Bは4級、数字・記号は2級まで成長します。生徒たちは、**表計算、ホームページ作成などの時に入力速度が速くなり、関数やホームページをつくる技術を指導する時間が多く取れるので、情報の授業がとてもスムーズにすすみます。**

先生から一言

段位が取れる生徒が全校で2名ほど出始めたので、是非卒業させるまでに多くの生徒に段位を取らせたいと思っています。そのために、(キーボードを見ないで入力できる)タッチタイピングの癖をつけられるように指導していきたいと考えています。



茨城県立並木中等教育学校

情報の授業の特徴、PRポイント

国語の先生、英語の先生が中心となって生徒の学習に対する意欲を高め、基礎学力がついてきています。4年次・5年次で課題研究をまとめ、外部に発信するため、和文入力に力を入れています。

コンクールに参加しようと思った動機、きっかけ

当校の前身である並木高校が参加していました。学校一括制度を利用していたため、費用の面でも参加しやすかったです。

参加してみて生徒さんの反応

全国大会にも参加する上位の生徒がいるので、その生徒を目標に挑戦する生徒がいます。また、自分の得点が上がっていくことを喜んでいる生徒も多くいます。

コンクールに参加した生徒さんの入力スピード

速くなりました。1年次の一番最初の段階では、10級が40%ですが、練習を続けていくうちに上達します。2年次では、3級・準2級を超える生徒が出てきて、全体でも80%ぐらいが4級に到達します

先生から一言

当校では、**4年次後半から5年次で1万文字近くの課題研究をまとめることになるので、文字入力技能は役に立ちます。**限られた授業時間の中で、毎パソに取り組む時間を確保することに苦労はしていますが、生徒たちのIT能力を向上させ、卒業してからも、パソコンを使いこなし、社会でも役立つ人材を育てていきたいと思っています。



大阪府茨木市・関西大倉高等学校

学校の特徴、PRポイント

本校の特色は、高1情報Cで2学期から行われる本格的なプレゼンテーションの取り組みです。「企画書→ブレインストーミング→マインドマップ作成→絵コンテ作成→パワーポイントでの資料作成」という流れで指導を始めたところ全体のレベルが上がってきました。あわせて生徒同士が評価しあうことで、参画意識・自主性を引き出し、多くの生徒が高いモチベーションで本格的なプレゼンテーション学習をしています。

コンクールに参加しようと思った動機、きっかけ

「**全国規模で自分を試せる機会になり自信がつくのでは**」と考えたのがきっかけです。練習した回数の中での到達度と毎パソの結果(級)で評価し、2学期の成績の中に入れていきます。

コンクールに参加した生徒さんの入力スピード、授業などでの変化

本校では**3級を目指して指導**しています。第12回大会では、約78%が3級に到達しました。また、授業等で変わった点は、プレゼンテーションのスライドをつくる時に、**タイピングに気をとられないので、内容をじっくり考えながら創ることができるようになったこと**です。「大学に行ってから何万字とかのレポート課題があり、入力が遅いので、中身を調べる時間がへってしまう。バイトの時間も遊ぶ時間も欲しいけど確保できない。中・高のときにやっておけばよかったな・・・」と卒業生が語ったことを代弁してモチベーションを上げています。

先生から一言

パソコンを道具として使えるように、社会に出てグループの中心として、発信する側として、筋道立てて考え、伝える能力をつけることを目指しています。**社会に出たときは、パソコンが使えるかではなく、使って何をすることが問われます。**自己実現をするためのツールとして「情報」を活用できるようにしておきなさいと指導しています。



大会公式 LINE ができました！

大会事務局では、大会にするお知らせなどを配信しております。

現在、配信メールが届きづらい状況が続いております。ぜひ、公式 LINE のご登録をお願いいたします。

事務局へのお問い合わせも LINE が便利です。

お持ちのスマートフォンなどのカメラで読み込んでください。



LINE アプリが開き、友達追加の画面に切り替わります。

「追加」をしてトークを開き、お名前と団体名（毎パソ ID でも可）を送信してください。



2024年度実施予定

6月大会

6月1日(土)～6月30日(日)

秋季大会

9月10日(火)～10月20日(日)

全国大会

12月8日(日)

冬季大会

1月16日(木)～2月18日(火)

公式ホームページ <https://pasoken.or.jp/maipaso>



- 主催： 毎日新聞社、(一社)日本パソコン能力検定委員会
後援： 総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、47都道府県、ほか
協賛： 株式会社PFU、東プレ株式会社
協力： 株式会社オデッセイコミュニケーションズ
(後援、協賛、協力：申請中を含む)



【毎日パソコン入力コンクール事務局】

大会事務局：一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会
ホームページ： <https://pasoken.or.jp>
メールアドレス： kentei@pasoken.or.jp
住所：〒198-0036 東京都青梅市河辺町 10-14-12
電話：0428-24-1163
電話受付時間：平日 10:00 - 12:00・14:00 - 17:00
(大会期間中のみ 平日 9:00 - 18:00)